

学校教育目標「かかわる つながる よく生きる」

天応中学校だより -令和4年4月号-

描ける 架ける 翔る



呉市立天応中学校 呉市天応東久保2丁目7-1

Tel 0823 (38)7545 Fax 0823(38)8334HP <http://www.kure-city.jp/~tenc/>

令和4年度はこんな動きがあります

- ◇ 現在よりも情報化が加速的に進んだ未来社会を想定し、そこで人として何らかの役割をもって活躍できるようになる力を身に付ける学びがスタートとして2年目です。
- ◇ 令和5年度公立高等学校入試改革へ向けた具体的な準備を進めます。
- ◇ 生徒一人1台タブレット端末の活用の仕方を充実させます。
- ◇ 令和5年度義務教育学校開校へ向け、新校舎が年度内に完成予定であるとともに、仕組み及び中身づくりを加速させます。

令和4年度が始まりました。本年度の主な動きは上記のとおりです。

こうした動きを踏まえた学びは、これまでの知識ベースの学びに加え、多様な他者と協働すること、様々な情報を組み合わせて自分の考えを述べること、自らの学び方を振り返り、より良い学び方に調整すること、などが求められます。

こうした学びを充実させるため、キーワードは次の3つです。

まずは、「対話」です。

「対話」とは、様々な人・もの・こととしっかり向き合うことから始まります。

そして、より共感的に相手を理解し、つながっていくものが「対話」です。

次に、「探究」です。

対話を通して生まれた疑問や問題に対し、「なぜ?」「どうして?」の問いをもつ。そして、その問いに対し、資料収集、調査、実験などを通じてより良い答えを導き出す。自ら問いをもち、深く探る。これが「探究」です。

とりわけ、本年度はデータの活用を充実させます。

最後は「貢献」です。

その時、その場で求められる行いをする。自分のできることを増やす。

困っている人を気遣う。ともに高め合う。社会に役立つことを創り出す。

そんな自分や仲間の幸せにつながるものが「貢献」です。

豊かな対話から見出した言葉を深い理解につなぐ。

問いを深める学び方を身に付け、様々な問題を協働的に解決する。

その先には、「わたしよし」、「あなたよし」、「みんなよし」という誰もの幸せにつながる「貢献」があります。

この1年間、様々な場面で、教職員及び生徒がともに、これら3つ「対話」「探究」「貢献」を意識しながら、豊かな学びをつくっていきます。

4月のおもな行事

6日(水)就任式・始業式 7日(木)入学式 14日(木)歯科健診 21日(木)眼科検診 25(月)~27(水)修学旅行

第71回入学式

4月7日（木）に、天応中学校第71回入学式を行いました。

23名の新入生は、入学認定での担任の呼名に対して、全員が体育館に響き渡る大きな声で返事をしており、中学校生活への意気込みを感じることができました。

校長は式辞のなかで、中学生として新入生に希望することとして、二つのことを語りました。

第一に「素直な心」をもつこと。素直な心とは、何事からも学ぼうとする心、仲間の良さを見つけ、それを認められる心、先生など大人の求めることに応え、より価値の高い行動をしようとする心です。

第二に「自分を鍛える」こと。「教えてもらう」から「自ら学ぶ」へ変わるため、その日、その日のやるべき事をやること。自分を甘やかさず、学び続けることが『鍛える』事です。

また、新入生を代表して豊島叶愛さんが、「小学校で学んだことや経験したことを生かして、それぞれの目標や夢をつかむために日々全力で中学校生活を送りたいと思います。」と決意を述べました。

「天応中学校で学んで良かった」と思える充実した中学校生活となるよう、教職員一同、全力で取組を進めて参ります。よろしくお祈いします。



対面式・結団式

4月8日（金）に、在校生と新入生の対面式を行いました。

昨年1月の生徒会執行部発足後、初めて全学年を集めた生徒会行事でした。1～3年生の生徒が縦割り班のグループに分かれて、生徒会執行部が企画したイントロ当てクイズ等のレクリエーションを楽しみました。生徒会執行部は、イントロクイズ用に曲を編集したり、校歌の歌詞あてのため、体育館の壁面に掲示された校歌を隠したりするなど、事前の準備もばっちりでした。最後に、得点が多かったグループには榎尾先生から“素敵”景品がプレゼントされ、館内がどよめきました。生徒全員が楽しい時間を過ごすことができ、執行部のメンバーには感謝です。コロナ禍で物理的には「密」を避けても、こうしたイベントでつながりを強めて、心や気持ちは互いに密でありたいものです。



第70回卒業証書授与式

去る3月12日（土）に、第70回卒業証書授与式を実施し、34名の卒業生が本校を巣立っていきました。本学年の中学校生活は、平成が終わり、令和に時代が移るときから始まりました。この3年間は、できないことがあふれ、心が削られることが続きました。

これらを、私たちは、新たな知恵をしぼって乗り越えてきました。

赤、青、白、黄、4色の団が個性を競い、若者としての力を魅せた体育祭。

卓越した伴奏を土台に、それぞれが音を丁寧に重ね、曲の世界観を表現した文化祭。

大きな視野から災害が起こる要因を解き明かし、みんなで解決する種をまいた防災・SDGsの取組。

これら卒業生が残した取組は、本校に新たな伝統を築いてくれました。

卒業生の皆さんには、これから新しい世界で、更に自分を磨き、それぞれの人生を切り拓いてほしいものです。

就任者紹介

本年度新たに、次の職員が天応中学校に赴任しました。よろしくお祈いします。

上清 祐輔 教頭（呉市立昭和北中学校から）

吉崎 聖子 教諭（美術：尾道市立美木中学校から）

磯方 源太 教諭（理科：呉市立音戸中学校から）

酒井 拓実 教諭（社会：呉市立蒲刈中学校から）

有島 りみ 教諭（理科：呉市立横路中学校から）

川上 薫雄 事務主幹（呉市立昭和北中学校から）